

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 全産業活動指数(2010年2月)

発表日2010年4月23日(金)

～2ヶ月ぶりのマイナスも、基調としては改善傾向が継続～

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 エコノミスト 小杉 晃子

T E L : 03-5221-4548

(単位: %)

		全産業活動指数									
				第3次産業活動指数		鉱工業生産指数		公務等活動指数		建設業活動指数	
		前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比
08	4-6月	▲ 0.8	▲ 0.9	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 1.3	0.8	▲ 0.8	▲ 1.4	▲ 2.3	▲ 11.8
	7-9月	▲ 1.3	▲ 1.7	▲ 0.9	▲ 1.2	▲ 3.2	▲ 1.4	▲ 0.8	▲ 2.4	▲ 0.8	▲ 8.4
	10-12月	▲ 2.7	▲ 5.0	▲ 1.7	▲ 3.0	▲ 11.3	▲ 14.5	0.6	▲ 1.1	2.7	▲ 0.9
09	1-3月	▲ 6.3	▲ 11.1	▲ 3.1	▲ 6.6	▲ 20.0	▲ 34.6	0.2	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 1.1
	4-6月	1.1	▲ 9.3	0.6	▲ 6.1	6.5	▲ 27.4	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 2.0	0.1
	7-9月	1.1	▲ 7.0	0.6	▲ 4.7	5.3	▲ 19.4	0.1	0.7	▲ 6.2	▲ 6.4
	10-12月	0.1	▲ 3.7	▲ 0.3	▲ 3.4	5.9	▲ 4.3	0.0	0.1	▲ 5.3	▲ 13.5
08	4月	0.0	▲ 0.1	0.2	0.5	▲ 0.6	1.8	▲ 0.4	▲ 2.1	▲ 1.0	▲ 10.5
	5月	0.0	▲ 0.9	▲ 0.2	▲ 0.7	1.2	0.9	▲ 0.2	▲ 0.8	▲ 1.4	▲ 12.1
	6月	▲ 0.9	▲ 1.6	▲ 0.6	▲ 1.2	▲ 2.0	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 1.2	▲ 0.8	▲ 13.0
	7月	0.1	▲ 0.3	0.3	0.2	▲ 0.3	2.3	▲ 0.6	▲ 2.6	▲ 1.2	▲ 13.0
	8月	▲ 1.0	▲ 3.6	▲ 0.9	▲ 2.8	▲ 3.1	▲ 7.2	0.0	▲ 0.8	1.9	▲ 8.2
	9月	▲ 0.5	▲ 1.2	▲ 0.3	▲ 1.0	0.1	0.4	▲ 0.2	▲ 3.9	0.6	▲ 4.0
	10月	0.2	▲ 2.5	0.0	▲ 1.6	▲ 3.4	▲ 6.6	0.6	▲ 1.4	1.2	▲ 1.3
	11月	▲ 2.1	▲ 6.1	▲ 0.9	▲ 4.2	▲ 7.0	▲ 16.5	0.1	▲ 0.1	0.3	▲ 1.5
	12月	▲ 2.5	▲ 6.3	▲ 1.7	▲ 3.3	▲ 8.4	▲ 20.7	0.1	▲ 1.8	0.6	0.0
09	1月	▲ 1.3	▲ 9.0	▲ 0.1	▲ 4.5	▲ 8.4	▲ 30.9	▲ 0.2	▲ 1.0	▲ 0.7	▲ 1.5
	2月	▲ 3.7	▲ 12.5	▲ 0.7	▲ 7.4	▲ 8.6	▲ 38.6	0.3	0.8	▲ 0.1	▲ 1.1
	3月	▲ 1.0	▲ 11.7	▲ 3.4	▲ 7.7	2.2	▲ 33.8	0.2	▲ 0.8	▲ 0.5	▲ 0.9
	4月	2.4	▲ 10.0	2.0	▲ 6.2	4.5	▲ 31.0	▲ 0.6	▲ 0.9	0.2	0.9
	5月	0.9	▲ 10.0	▲ 0.2	▲ 7.1	4.6	▲ 29.0	0.5	1.2	▲ 1.6	1.0
	6月	0.3	▲ 7.9	0.2	▲ 5.1	1.5	▲ 22.5	▲ 0.3	▲ 0.8	▲ 2.5	▲ 1.3
	7月	0.5	▲ 8.0	0.5	▲ 5.3	1.1	▲ 22.3	0.2	0.6	▲ 2.5	▲ 3.5
	8月	0.0	▲ 6.3	0.2	▲ 4.1	1.5	▲ 18.3	▲ 0.2	0.4	▲ 1.5	▲ 6.5
	9月	0.1	▲ 6.7	▲ 0.3	▲ 4.7	1.8	▲ 17.5	0.1	1.3	▲ 1.9	▲ 8.8
	10月	0.2	▲ 6.1	0.2	▲ 4.4	1.5	▲ 14.4	▲ 0.2	0.5	▲ 1.0	▲ 10.5
	11月	▲ 0.2	▲ 3.3	▲ 0.2	▲ 3.0	2.6	▲ 2.9	0.2	▲ 0.5	▲ 3.6	▲ 14.5
	12月	▲ 0.3	▲ 1.6	▲ 0.7	▲ 2.7	2.6	6.4	0.2	0.3	▲ 0.4	▲ 15.3
10	1月	3.4	1.9	2.5	▲ 0.5	4.3	18.9	0.1	1.2	0.7	▲ 13.9
	2月	▲ 2.3	4.1	▲ 0.2	0.4	▲ 0.6	31.3	▲ 1.2	▲ 1.0	4.5	▲ 9.7

(出所) 経済産業省「全産業活動指数」

○ 全産業活動指数：前月比▲2.3%

2月の全産業活動指数は前月比▲2.3%とコンセンサス（同：▲1.5%、レンジ：同▲2.3%～+0.2%）を下回る結果となった。もっとも、第3次産業活動指数や鉱工業生産指数が悪化したことなどにより、単月では2ヶ月ぶりのマイナスとなったが、1-2月平均の10-12月期比は+2.0%と、引き続きプラスとなっており、基調としてみれば全産業活動指数の改善傾向は継続しているといえよう。

内訳別にみると、プラスに寄与した指数は建設業活動指数（前月比寄与度：+0.20%ポイント）のみであり、それ以外の第3次産業活動指数（同：▲0.13%ポイント）、鉱工業生産指数（同：▲0.12%ポイント）、公務等活動指数（同：▲0.14%ポイント）はすべてマイナスに寄与した。

○ 鉱工業生産指数は12ヶ月ぶりに悪化

個別にみると、鉱工業生産指数は前月比▲0.6%と、12ヶ月ぶりにマイナスに転じた。もっとも、2月の悪化は、中華圏の旧正月の時期のずれによって1月が押し上げられていた反動が出ていると思われる。業種別にみれば、一般機械工業や鉄鋼業は上昇しており、国内の設備投資は持ち直しつつあることやアジア向けを中心に輸出の回復が続いていることなどを考慮すると、増産基調が持続しているといえよう。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

また、第3次産業活動指数も前月比▲0.2%と前月(同+2.5%)から一転してマイナスとなった。輸出や生産の減少などにより卸売業をはじめとした企業部門の活動が低下したほか、海外市場環境の不透明感の高まりによる株価の下落などから、金融業なども悪化した。その結果、全体では2ヶ月ぶりの悪化となった。

一方、建設業活動指数は、前月比+4.5%と前月(同+0.7%)を上回る大幅プラスとなった。公共・建設・土木活動指数が大幅に上昇したことに加え、住宅市場の下げ止まりなどを背景に民間・建設・土木活動指数も上昇したため、全体では2ヶ月連続のプラスとなった。但し、1、2月の結果に関しては、建設総合統計で冬期における積雪・寒冷地域の工事の停滞を考慮に入れた冬期修正率が改定された影響で、実態よりも上振れている可能性があることには注意が必要である。

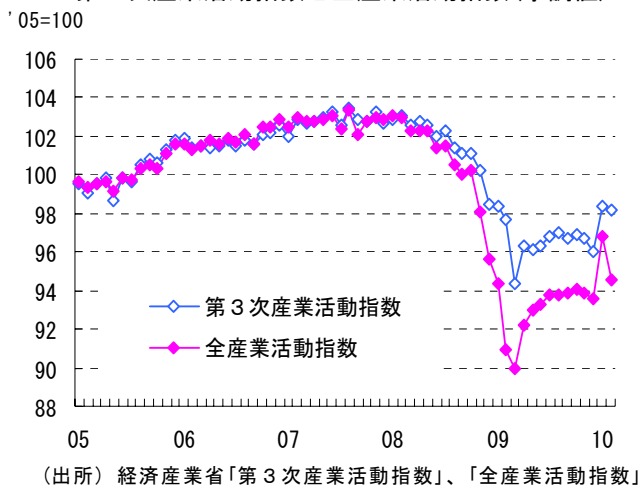
○ 先行きも輸出や生産の回復を通じて、当面、改善傾向が続く見込み

全産業活動指数の先行きを展望すると、第3次産業活動指数は、雇用、所得環境に厳しさが残る中、景気対策による押し上げ効果が一巡しつつあることで、家計部門は回復力に乏しい動きが続くと思われる一方、設備投資が持ち直しつつあることや輸出の回復などを受けて企業部門は緩やかに回復していくと見込まれる。そのため、先行きは当面、緩やかな持ち直しが続くと思われ。

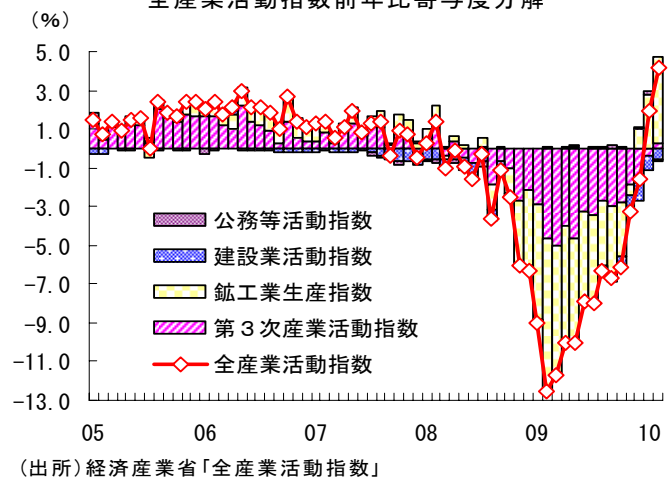
鉱工業生産指数は、足もとで在庫調整の進展によるリバウンド効果は弱まりつつあるものの、アジア向けを中心とした輸出の高い伸びが今後も続くと思われ、増産傾向が継続しよう。

以上を踏まえると、全産業活動指数は輸出や生産の回復を通じて、当面、改善傾向が続くと思われ。

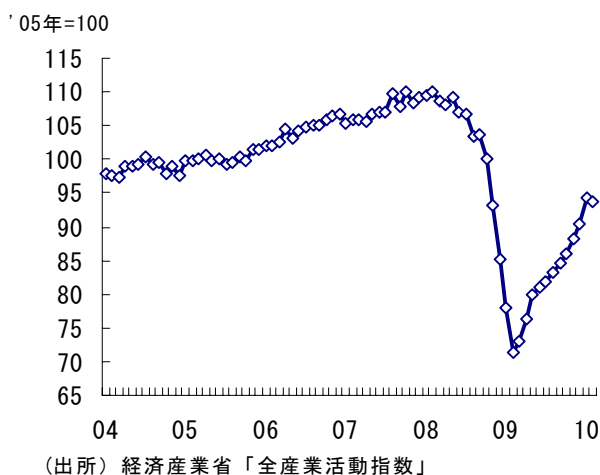
第3次産業活動指数と全産業活動指数(季調値)



全産業活動指数前年比寄与度分解



鉱工業生産指数(季調値)



建設業活動指数(季調値)

